



だきたいと思います。

JR が作ったモラルの低下

大体、指定席券を車内で発行出来る旨の案内を堂々としていること自体がおかしいです。指定席は予め、予約してから・・・が基本のはずです。ここ何号かで記載してきましたが、割引なんかよりも煩わしいから車内で買うという利用者が多過ぎます。この状況は長年の悪しき慣習のようなもので、会社が作り上げてしまったのは言うまでもありません。

現行自動放送の問題点

車内での自動放送も刷新され、車掌が付け加えることもないくらい充実した内容となりました。が、ひとつだけ、それも一番重要で、今回の事象にも絡んでいる問題点があります。

それは「**座席の指定を受けていない方は、空いている席に座ってお待ち下さい**」というものです。これでは、今回のようなトラブルがあとを絶たないのは当然であります。これを「**座席の指定を受けていない方は、発車後、車掌が対応するまでデッキでお待ち下さい**」という文面に早急に変更すべきかと思います。

性善説を隠れ蓑にした会社の毎度毎度の絵に描いた餅のような施策は、車掌や利用者までもトラブルに巻き込み続けています。本腰を入れ、きめ細かな現場での調査、分析、そして実施の努力は、いつになったら出来るのでしょうか・・・?!

特急車内で暴力行為?!

あとを絶たないトラブル、対策は・・・難しい?

それは、4月3日(水)内房特急1007M(東京発 20:30)車内で発生しました。

概要としては、予約をした利用者Aが、自分の席に予約を取らずに座っていた利用者Bを見つけ、ひと悶着が始まり、駆けつけた車掌(木更津・男)を突き飛ばしたというものです。

こちらでは現時点で詳細な内容、3者(更にもう一人車掌も加わる)の間で、どういったやり取りがあったのかも分かっ

ていません。ただ、似たような事象は今までにも散々繰り返されてきており、今回の場合も単純に考えれば、Aが「そこ私の席ですよ」と言って、Bが「すみません」と移動すれば、それで済んでしまうはずののですが、今回はそれで収まらず、拳句の果ての車掌への暴力という最悪の結果になってしまいました。どんな理由があろうと、暴力は絶対許されるものではありません。**カスタマーハラスメントも含む今回の事象**は、会社として重く受け止めていた

うたてつ ノススメ 29 逃避行(麻生よう子) 1974年2月

あの人から言われたのよ
午前五時に 駅で待てと
知らない街へ二人で行って
一からやり直すため
あの人から言われたのよ
友だちにも打ち明けるな
荷物をつめた トランク下げて
また空いた汽車を
空いた汽車を 見送った
昨日の酒に酔いつぶれているのかわ
おそらくあの人のことよ
それがなきゃ 良い人なのに
諦めたわ 私一人切符買う

歌詞は1番のみ掲載。デビュー曲で、これが一番売れたのかな。鉄道ソングの名曲のひとつ。作詞は千家和也、作曲は都倉俊一。

余程の事情があったのか、誰にも知られずに、こっそり早朝の汽車でこの街を出て行く・・・そんな計画を立てておきながら、この馬鹿男は来ない。今まで何度も何度も裏切られ泣かされながら、それでも今度こそは今度こそはと信じて待ち続けた主人公が最後の最後によく諦めがついたというあまりにもはかなく切ない歌である。2番の最後は「私一人汽車に乗る」と馬鹿男に見切り

をつけ、新しい人生に向かうことが出来たのは、本当に良かったと思う。このあと絶対幸せになってほしいと願わずにいられない。まだまだ女が男に頼って生きていくしかない時代だったのかなあ・・・としみじみ。この作詞家にしては非常に上手く作れた歌だと思う。歌手の歌唱力も改めて脱帽!